

# ニュージーランド債券ファンド 2015-09（早期償還条項付）

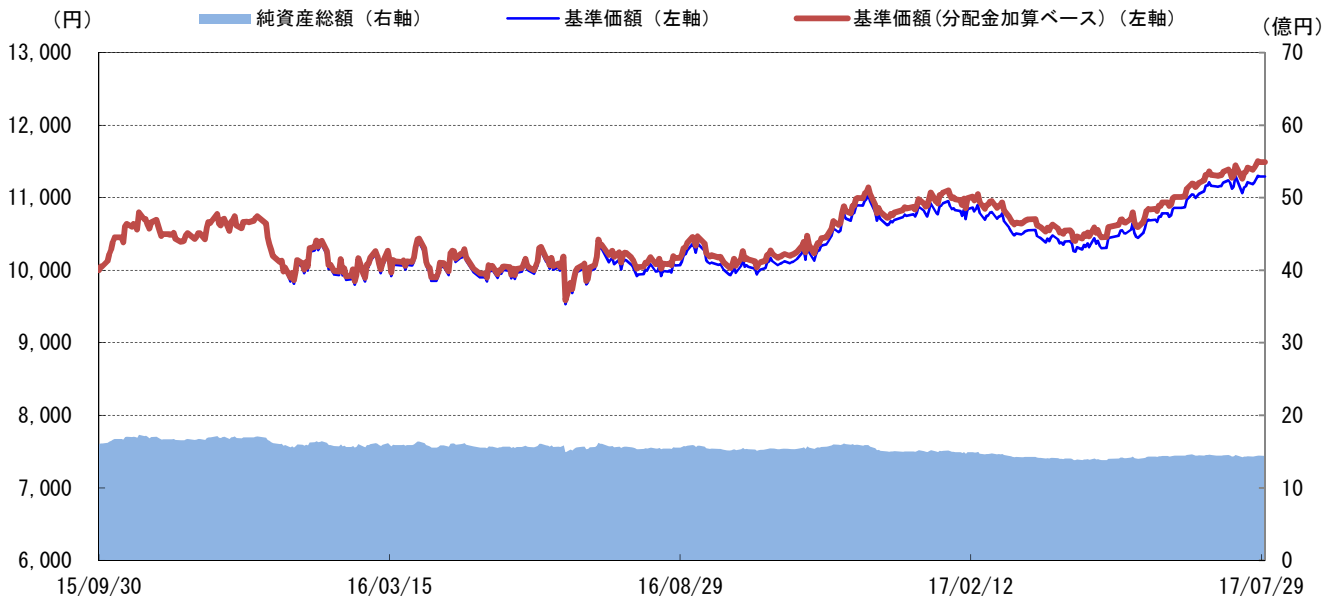
愛称：ニュージー・トライ・ネクスト

設定日：2015年9月30日 償還日：2017年8月8日 決算日：原則、1月18日、7月18日  
 収益分配：決算日毎 純資産総額：14.43億円  
 基準価額：11,291円 基準価額(分配金加算ベース)：11,491円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 運用実績

### <基準価額の推移>



※基準価額は、信託報酬（年率1.3392%（税抜1.24%））控除後の値です。

※基準価額（分配金加算ベース）は、1万口当たり基準価額と設定来の1万口当たり収益分配金（税引前）累計額との合計額をさします。

### <基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
1.60%	10.06%	4.20%	12.41%	-	15.09%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

### <分配金実績（税引前）>

設定来合計	16・1・18	16・7・19	17・1・18	17・7・18
200円	50円	50円	50円	50円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

### <基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	11,163円
当月お支払いした分配金	-50円
要	
債券要因	インカムゲイン 35円
	キャピタルゲイン -16円
為替要因	173円
その他	-14円
因	
当月末基準価額	11,291円

※左記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## ポ ー ト フ ォ リ オ の 内 容

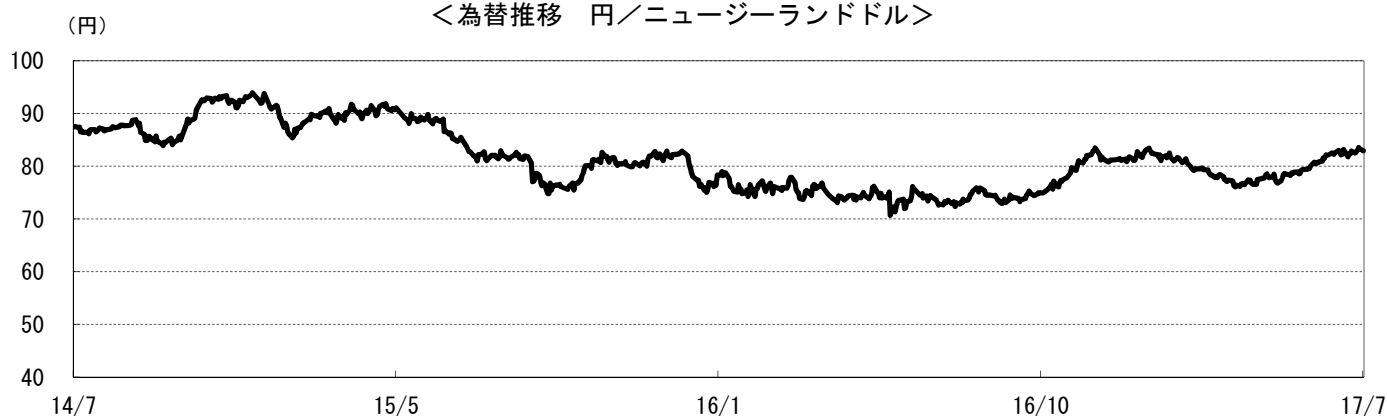
## &lt;資産構成比&gt;

公社債	0.0%
現金その他	100.0%

※対純資産総額の比率です。

## ご 参 考

&lt;為替推移 円/ニュージーランドドル&gt;



※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。**

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎今月の市場動向

## 【債券市場】

ニュージーランドの債券利回りは、10年国債利回りは上昇（債券価格は下落）、5年国債利回りはほぼ変わらずとなりました。欧州中央銀行（ECB）理事会議事要旨を受け、ECBによる緩和縮小観測が強まったことが利回りの上昇要因となった一方で、第2四半期の消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となりました。

## 【為替市場】

ニュージーランドドルは、第2四半期の消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどはニュージーランドドルの下落要因となったものの、ニュージーランドの主要輸出品目である乳製品の価格が上昇したことや、金融当局者によるニュージーランドドル高容認発言などを受けて、円に対して上昇しました。

## ◎運用概況

ニュージーランドの債券利回りは上昇（債券価格は下落）したものの、ニュージーランドドルの対円為替レートは上昇しました。月を通してのパフォーマンスはプラスとなりました。また下旬に1万口当たり基準価額が11,303円となり、設定来の1万口当たり収益分配金累計額との合計額が11,500円以上となったことから、償還が確定しました。

## ◎今後の投資方針

2017年7月27日現在の1万口当たり基準価額が11,303円となり、設定来の1万口当たり収益分配金累計額との合計額が11,500円以上となったことから、2017年8月8日に信託を終了させていただくこととなりました。当ファンドへのご愛顧を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。**

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。